



住みよい幸せな国づくり

NPO 法人
日本・デンマーク
生活研究所【会報】
第 13 号 (2015 年 1 月)
発行人 千葉 忠夫

デンマーク便り

理事長 千葉忠夫

正月や冥土の旅に一里塚……

何はともあれ皆様新たな希望に満ちた新年をお迎えになられたことと心からお喜び申し上げます。

もういくつ寝るとお正月と子供の頃は一年中で本当に待ち遠しい日がお正月でしたがデンマークに半世紀も在住しているとあの懐かしい正月風情が蘇って来ないのが寂しい限りです。

デンマークの子供たちが一年中で一番楽しみにしているのはクリスマスです。11月に入ると家々の庭には電飾が灯りだし、暗い夜空を微かに染めます。商店街もクリスマスツリーで飾られクリスマスセールで賑わいますが、日本のようにクリスマスソングがガンガン流れるわけではなく、いたって静かにクリスマスを迎えています。

日本の正月3日間は、食べて寝てのそれこそ楽しい日々。同じようにデンマークではなんとクリスマスを4日間に渡って祝います。12月23日は小クリスマス、24日はクリスマスイブ、25日はクリスマスデイ、そして26日は

セカンドクリスマスデイなのです。この間毎日のようにダックの丸焼き、焼き豚、ソーセージ、ニシンの各種酢漬等々、デザートには牛乳で炊いたお粥がでるのです。クリスマスイブには家族相互間でクリスマスプレゼントが交換されます。このようにこの4日間で心身ともに満腹となったデンマーク人が迎える年末年始は実にあ



つけられないものです。12月28日御用納めなし、12月31日の大晦日は煤払いなし、お節料理も除夜の鐘も年越し蕎麦もないのです。紅白歌合戦も何十年も見ていません。

午前0時デンマークの新年の幕開けは Happy New year! とシャンペンで乾杯。えっ? お屠蘇なんかありません。乾杯後各家庭から庭に討ち出

た人々が打ち上げる花火でどの街々も空襲を受けたように空が焼きあがります。私はその真っ赤な空を見ていると昭和20年の夏郷里の小さい町がB-29から投下された焼夷弾で焼き尽くされた日を思い出してしまうのでした。この打ち上げ花火が下火になる頃人々は床に付き新年を迎えるのですが、この間いたるところで年一度だけ許される子供たちによる悪事が為されるのです。ある家は郵便箱を吹き飛ばされ、ある家では門扉を外して持ち去られ、国旗掲揚ポール等にはガラタものが掲げられるといったように百鬼夜行とはまさにこのことかもしれません。初詣でにしては目に余る悪さです。

1月1日目覚めると日本ではお正月の始まりですがデンマークでは1月1日は単なる月が変わった最初の1日です。門松もない、獅子舞もない、あるのは打ち上げ花火の残骸が散らばる、とてもとて殺風景な正月です。一応1月1日は祝日ですが週末と続かない場合は1月2日から学校も職場も始まるのですから、あの正月気分とは程遠いものがあります。お年玉もありません。

何かしらないないづくしのデンマークの正月の紹介でしたが皆様ご存知のようにデンマークには日本にない生活しやすい制度があります。次号から如何にしたらデンマークのように日本も揺りかごから墓場まで国民全ての生活が保障されるかを考察して行きたいと思えます。

本年もよろしく願い申し上げます。



写真上左
ボーゲンセの海岸
1月の朝
写真上右
1月のボーゲンセ
写真左
大西洋に面した

エスビヤの海岸。手前は打ち上げられた氷塊

千葉理事長が「(埼玉) 県南特別養護老人ホーム連絡協議会」で講演

会員 渡辺起世子

千葉理事長は昨年10月31日(金)、「(埼玉) 県南特別養護老人ホーム連絡協議会」の行事の一環として、幹事の川口市の社会福祉法人 徳誠会 介護老人福祉施設 春輝苑(高木輝久事務長様)のアレンジにより、川口市の「江南春」に於いてデンマーク在住の体験を基に『**社会福祉国家への道程**』と題して傘下協議会の施設長ほか幹部約70名を対象に講演を行いました。

【講演の要旨】

《社会福祉国家》とは？

弱者のみでなく、国民すべての生活を保障している。(ゆりかごから墓場まで)

デンマークでは 医療費無料に加え、教育費無料(専門学校、大学、大学院に至るまで全て)であり、これらの費用は全て税金で賄われている。

《高齢者福祉の変遷》

(当研究所会報第11号/第12号掲載の千葉理事長寄稿記事ご参照)

1960年代 日本の特養と同じようなシステムだが、個室、シャワー・トイレつき

約18~20平方メートル=11~12畳ほど)

高齢者は病人であるという見方で、施設の責任者は医師。

1970年代 老人は病人ではなく、定年退職者で余生を送る人たちであるという見方。

未だ責任者は医師。



1980年代 福祉政策推進により累積赤字が嵩み、政権交代、高齢者福祉の見直し実施。

① 特養を作らない

② 高齢者とは、第三の人生を送る人々と位置づけ(第一は学校生活、第二は職業生活)

③ 高齢者は可能な限り在宅で過ごす

そのために大切なこと

継続性……それまでに使い慣れた家具、調度品などの環境をととのえること

自己決定……起きたい時に起き、食べたい時に食べる等

自己資源の開発……高齢者の持っている資源を生かす

精神的な資源の開発

自分で出来ることは、自分でやらせる

1990年代 特養を作らず、高齢者センター(各ユニット4~9)内に各9軒程を作る

例えばアパート形式ではない一軒家(一軒の広さ45~65㎡)が9軒並んでいる



【関連トピックス】

講演の後半になりましたが、社会福祉国家デンマークの現状についてパワーポイントを使用して紹介がありました。また、日本の現状とも照らし合わせて参会者の関心が高い次の項目についても概説がありました。

《認知症対策》

高齢者センター等の充実と並行して、ホームドクター制度を発展させた地域の専門医、訪問医(認知症コーディネーターと地域高齢者精神医療班)による支援を行う。

《真の主主義とは》 = 《自由+平等+博愛(連帯+共生)》

主権在民の考え方を子供の頃から身に付けさせる教育が重要である。 以上

(係から)

渡辺さんは、この講演会に参加して当日の様子を簡潔にまとめてくださり、撮影した写真と併せて寄稿していただきました。ありがとうございました。

理事 前田正志

12月14日に衆議院の総選挙が行われました。結果はどうあれ、きちんと投票に参加したでしょうか。社会の仕組みの多くは国の法律や予算により作られます。議会が果たす役割の大きさ、議員を選ぶ大切さは今更申し上げるまでもありません。デンマークの選挙での投票率は日本よりも高いことをご承知の通りです。政治のレベルは有権者のレベル。政治家や役人を責めるのは楽なことです。鏡に映っている顔は自分自身の顔なのです。有権者としての最低限の責任を果たすために、国会ばかりでなく都道府県の知事や議員、身近な市区町村の首長、議員の選挙にも関心を持って参加していきましょう。

【第12回の実践】

よりよい社会づくりのために積極的に選挙にかかわろう。

(係から)

前田理事の記事は12月6日に書かれました。

右の川島副理事長の記事に関連して補足すると内村鑑三著「デンマーク国の話」は、当研究所のホームページの【リンク集】からアクセスして、読むことができるようにしてあります。

~~~~~

### デンマーク流平等に思うこと

副理事長 茂木俊郎

会員の皆さんにはお馴染みの問だと思うが、1枚のピザを三人で平等に分けようという時にどのように分けるか。デンマークの福祉を説く時に千葉理事長がよく例に引く問題である。

私たち日本人は幾何学的公平しか知らない。つまり、きちんと三分の一ずつに分けることが平等だと信じている。

しかしデンマーク人はそういう分け方はしない。例えば一番お腹が空いているAさんに60%次に空腹なBさんに30%、空腹ではないCさんは味見のために10%——これが平等な分け方だと考える。

この話を聞いたとき私は心から感動した。しかし、千葉さんは追い打ちをかける。デンマー

副理事長 川島正仁

「第4のヒーロー」

「これは素晴らしい本です」と友人から一冊の本を紹介されました。早速最寄りの本屋に注文し、拝読しました。本の名は「デンマーク国の話」、作者は内村鑑三です。

私には今までデンマークにはアンデルセン、グルトヴィ、そしてキルケゴールの3人のヒーローが存在していました。

19世紀中ごろのデンマークは、戦いに敗れ南部最良の2州を割譲し、残された土地は荒漠し、国民の意気は消沈していました。このとき一人の工兵士官が立ち上がりました。彼の名はダルガス、36歳でした。そして想像を超えた大変な苦勞、努力の結果、幸いな事には、途中成人した息子も加わり、このユットランド荒地は、ついに鬱蒼たる樅の林に変貌したのです。

我が愛する日本にもヒーローはおりました。しかし現在はどうでしょう。国民の幸福を考え、国の発展を導くべき「官僚、政治家」はお金にまみれ、ただ自分たちの利益の事しか考えない悲しい存在になってしまいました。

我が国に足りないのは「真のリーダー」です。それには常に千葉さんが述べているように国民一人一人が「真の民主主義」を体得し、人間哲学を実践することです。

~~~~~

ク人の平等には更に奥があるのだ、と。

そのピザの代金を払う時に、三人でどのように支払いをするか。日本人ならばAさんが60%、Bさんが30%、Cさんが10%と、食べた量に比例して支払う、あるいは良くてきちんと三分の一ずつ支払うのではないだろうか。対してデンマーク人は——Aさんの持ち合わせが少なくBさんがある程度持ち合わせている、Cさんの財布にはお金がうなっているという状況ならば、Aさんが10%、Bさんが30%、Cさんは何と60%を分担する、それが平等な負担の仕方なのだという。

ちょっとお、ウソでしょお、いくらお人好しのCさんだって、そんなことが続いたらAさんとは付き合わなくなるんじゃないのお？ そんな声が聞こえてきそう。確かに現実に日常生活の中でそのような場面が繰り返されるならば、CさんもうんざりするだろうしAさんのプライドも傷つくだろう。三人の友情も壊れかねない。だがしかし

このピザの分配は例え話である。

分けられるべきピザは、各種の年金、医療費、教育費など広義の福祉予算であり、ピザの代金とは税金である。比較的高収入の者は多額の所得税と消費税を負担し、低収入の者は僅かな税と消費税を負担する。教育が必要な子どもの有無とか、事故でハンディを負ってしまうとか、人には様々な事情があるのだから、納税額が大きいから負担だけが大きいとは言い切れない。

どんなに財産を残しても墓の中まで持つていくことはできないのだから、金銭の活きた使い方だと思ふ。社会保障のあり方をデンマークに近づきたい、そのためには税負担の仕方もデンマークに近づいてもやむを得ないと思ふ。

しかし私はいつもここで考え込んでしまう。デンマークの税制や社会保障を支えているものは何なのか。理事長が説く「真の民主主義」が実現しさえすれば我が国も変われるのだろうか。

聞けばデンマークは資格社会で農業経営にも資格が必要であり、親の農地を子が引き継ぐ場合は相続ではなく不動産売買が親子の間で行われるのだという。翻って我が国では農地は相続がほとんどである。加えて一所懸命という言葉が生まれたほどに土地所有を重視する国民思想がある。現代では建物や株券、預貯金、美術品などの動産・不動産も土地に代わるものとして増やし、守り、子孫に継承させるべき財産とされている。私たちもおそらくそう考えている。親の財産は親一代限りのもの、子には相続させないなどという日本人はいないだろう。

そのことが大きく影響するのではないかと私は感じている。高所得者ほど税率の引き下げを求めている日本である。それでも彼らの方が納税額が多いのは事実であろうが、資産を守り増やすから社会に一層貢献するへと、庶民の力で彼らの意識を換えることはできるのだろうか。

もちろん千葉理事長も言うように、日本をデンマーク化することは不可能だし、考えるべきでもない。日本という国がデンマークのように国民が揺籃以前から墓場まで安心して暮らせる国になる

ことが目標なのだから何らかの道は拓けるだろう。ただその道が赤い羽根募金や歳末助け合い運動といった国民の善意を予算化した運動では駄目だと思う。収入に応じて納税し国民同士が支え合うことが制度として確立しなければ福祉国家とは言えない。

税金をとられる（盗られる・獲られる・奪われる）という意識が税金を預けるに変わるようにと努力する政府に変えなければならない。己を選良と美化し世論に従うことを大衆迎合と退ける＝主権者の意向を無視する政治家を許さないのが当然の国にならなければならない。つまり千葉理事長の説く真の民主主義を実現することが大切だ。

私たちの目標は未だ遠い彼方にあるように見える。しかし理解が広がる下地は整っているようにも見える。活動を続けていくことが目標を近くに引き寄せてくれるだろう。

☆ 事務局からお知らせ ☆

① 2015年度総会は2015年5月16日(土)です。詳しいご案内は次号に同封します。

② 第6回研修塾は、千葉県で開講する予定です。
☆開講日：2015年9月25日(金)～27日(日)
会場、定員、費用等詳細は会報14号でお知らせするとともにHPにも掲載します。

異動の連絡を忘れずに

定年退職や職場(の所在地や名称)が変わった等の理由で会報の届け先が変更になる場合には必ず下記発行所までお知らせください。送料の都合で郵便ではなくメール便でお送りしていますので、転居先へ自動的に転送してはもらえません。最近特に贈呈している方々に届かないケースが増えています。ご本人宛の届け先変更の他、後任の方のお名前等もお知らせいただければ対処いたします。よろしくお願いいたします。

編集後記：★総選挙の投票率は52%余りだという。折からの大雪で投票できなかった人もいよう。★TVが伝える棄権の理由は「誰がやっても同じ」「関心がない」「師走の選挙は迷惑」「大義がない」「投票したい人がいない」★言い換えれば与党にも野党にも不満があるから投票しない。★そのことが与党を利するという不条理。棄権した人たちは気づいているだろうか。★少雪地域での豪雪、広島集中豪雨と土石流、御嶽山の噴火、長野県北部地震。豪雪地の豪雪、沖縄、九州の台風、豪雨は例年どおり。自然の猛威を感じた昨年。今年は良い年でありたい。(茂木俊郎)

発行所

〒292-0801千葉県木更津市請西4-6-9
茂木俊郎 方 Tel:0438-36-3565
Tel:090-9827-9262

NPO法人ホームページ

<http://www.djsli.com>

オフィシャル・メールマガジンをご希望の方は
djsli@hotmail.co.jp まで「メルマガ希望」とお申し込みください。